



あいさつと言葉づかいを大切に

校長 石井 正広

今年度の運動会は、天候の影響から9月29日(土)と10月2日(火)の2日にわたっての実施となったにもかかわらず、子供たちは、「よい子、つよい子、やさしい子」の合言葉通り、最後までがんばりました。多くのPTAの皆様にも2日も運営にご協力いただきましたこと感謝申し上げます。「土曜日だけでも参観することができてよかった」という意見をたくさんいただき、一方、運営面での課題についてもお声をいただきました。次年度以降の計画の参考にさせていただきます。ありがとうございました。

さて、学校評価前期保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。肯定的回答の割合が高い項目として以下のようなものがありました。
○学校の教室や施設は清掃が行き届き安全で利用しやすく整備されている95.0%
○子供たちは仲良く生活しており、学校での様子は楽しそうである92.1%
○学校の先生は、分かりやすい授業を行っていると思う90.8%

一方、以下のように、あいさつや言葉づかいについてはあまり高くありませんでした。

▼子供はあいさつの習慣が身についている64.6%

▼あいさつや場に応じた言葉づかいをさせている78.9%

全校昼会で「一秒の言葉」という詩を紹介したところ、児童会代表委員会が中心となって、「あいさつリレーカード」を全校で取り組み始めたり、週ごとに朝のあいさつ当番を学年交代で行ったりしています。子供たち自ら、学校の課題解決に向けて取り組む姿はとても素晴らしく誇らしく感じています。

ご家庭でも、あいさつや言葉づかい等よりよい言語環境づくりにご協力くださるようお願いいたします。

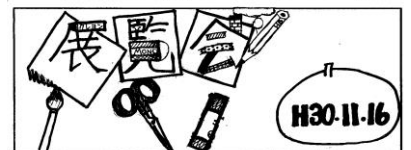
思いを表す ～これが、わたしの色とカタチ～

展覧会委員会

授業では、新しい道具や材料を見た時の子供たちのきらきらした表情から、これから始まる図工の時間に対する大きな期待を感じています。また、題材についての話を真剣に聞いている子供たちの態度から制作活動に対する高い意欲も感じています。

図工の時間では、全体に出されたテーマ(題材)から、自分がつくりたいものや描きたいものを思いつき、一人一人が自分の目標(完成のイメージ)をもって活動します。自分の思いを表すためにいろいろなことを試しながら、完成に近づけるための色や形を決めていきます。試して決める活動の過程で、子供たちは題材や材料から、たくさんのことを感じとり考えています。子供たちが自ら考えて決めたことには価値があり、考えることで自分の思いを確かめ深めていきます。図工では、どう感じて考えて、自分の色と形を決めたかを大事にしています。

子供たちの作品を見ていると、使われている色や形から、どんな世界を表現したのかたくさん想像ができます。でも一言、制作者である子供本人に「この色はどんな感じ?」「この形はどんな感じ?」と聞いてみると、こちらの想像をこえる「子供の思い」があふれ出します。作品を鑑賞した人が、作品についてどのように感じ取るかは、人それぞれですが、「この色は?」「この形は?」の質問から「この色にはそういう意味があるんだね。」「なるほど!この形で表現したんだね。」と、広がる子供の世界に感心するばかりです。子供たちが自ら決めた色と形には、たくさんの思いが詰まっています。作品を通してたくさん会話をしていただけたら嬉しく思います。



児童玄関の施錠についてのお知らせ

11月より、安全管理の面から放課後には児童玄関のドアを施錠します。つきましては、子どもひろば等の利用について以下のようになりますのでご理解・ご協力くださるようお願いいたします。

- ・子どもひろばの受付後は、通常教室前の廊下及び中央階段を通行せず、西階段を使用します。
- ・子どもひろばの外遊び終了後、午後5時を目安に児童玄関のドアの施錠をします。
- ・子どもひろばへのお迎えの保護者は職員玄関及び児童玄関を使用せず、児童玄関横の体育館開放用のドアから出入りしてください。
- ・子どもひろばを利用する児童は、児童玄関で外履きをとり、体育館開放用のドアから下校します。
- ・職員室来校時には、職員玄関で受付を済ませて、職員室でお声かけください。

※16日(金)一般鑑賞13:30~16:00

17日(土)一般鑑賞 9:00~16:00

(両日とも入場終了は15:45)

不審者対応訓練

担当

11月14日(水)に不審者対応避難訓練を実施いたします。本校に不審者が侵入した場合、児童自身がどのように危険を回避するのかを学びます。また職員も不審者の学校侵入時における児童の安全確保や避難誘導などを目的とし、訓練を行います。

当日は、四谷警察署の方からも危険回避等についてお話をさせていただきます。防犯標語の「いかのおすし」を合言葉に、訓練で学んだことを生かし、「自分の命は自分で守る」という意識を強くもって、安全で楽しい生活を送ってほしいと思っています。

味覚の授業

5年2組 担任

10月19日に三國シェフ、米沢シェフによる味覚の授業がありました。プロのシェフによる授業ということもあり、子供たちはこの日を楽しみにしていました。

「塩味、酸味、苦味、甘味、うまみ」などの味の要素について知りました。塩のしょっぱさ、酢のつんとした香りや酸っぱさを体験し、子供たちはくると表情を変え、味の世界を楽しんでいました。また、シェフの手作りケーキに舌鼓を打っていました。子供たちの感想を紹介します。

「ふだんの食事に何が入っているのか考えたい。」

「味わって食べることの大切さに気付いた。」

「五感を気にしながら食べると、おいしく感じた。」

「ごはんをもっと大切に食べたいと思った。」

食べるという行為は毎日当たり前のようにしていますが、五感を使って味わい、食べることの楽しさを学んだ授業でした。

食欲の秋

4年1組 担任

給食が大好きな4年1組。美味しそうに食べる子が多いことが良い影響を与えているのか、「私ね、4年生になってから一度も減らしてないし全部食べてるよ。」と、苦手な食べ物にもすすんで挑戦する子が増えています。

片付けにも気を配れるようになってきました。食缶やお皿、お箸などをきれいに片付けることで、調理員さんたちに「おいしかったです!」と感謝の気持ちが伝わるようにしています。

毎日、齋藤栄養士さんから届く「もぐもぐつうしん」では、季節・地域ならではの料理や食材についても学んでいます。郷土料理「雁月」が給食に出て数週間後の国語では、もぐもぐつうしんに書かれていた「雁月」の由来から満月や秋をイメージして、『がんづきをはじめて食べた あまいあじ』と俳句を作った子がいました。給食と学習もつながっています。

食べることは生きること。体も心も大きく育つように、食欲の秋を楽しみます。

感じ取ることを大切に

音楽専科

みなさんは最近「この音素敵だなあ。」という音や、「この音楽、なんかいいなあ。」という音に出会いましたか?例えば、秋のはじめに聞こえてくる虫の声、お祭りで聞こえる楽しそうな音楽、ふっとテレビから聞こえてきた音楽でもよいです。音楽の授業ではいつも、この「素敵だな。」や「なんかいいな。」という気持ちを大切にしたいと思っています。子供たちのこの素直な気持ちが、音楽への表現につながっていきます。もしかしたら、虫の声からは、言葉に表せない絶妙な秋の雰囲気が伝わってきたかもしれません。それがその子にとっての「秋の感じ」ですし、自分が秋の歌を歌った時にはきっとその「秋の感じ」を表現しようとするはずです。

いろいろなことを素直に感じ取り、「こんな感じで表現したい。」「それをみんなで演奏したい。」というような気持ちにつながってくれるといいなと思っています。

